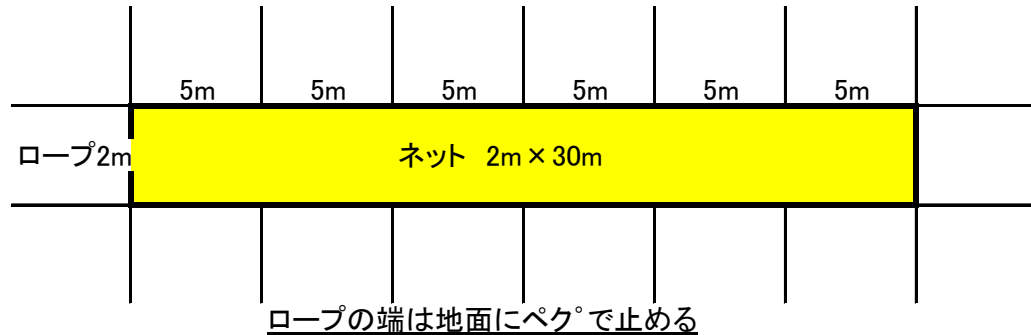


鹿除け平帳りネット・平面図

<http://kyoto.d.dooo.jp/sin9/shikayoke.html>



作業手順

- ① 設置場所にネットを広げる
- ② 前後のロープをペグで固定する。
- ③ 左右のロープをペグで固定する。
- ④ ロープの結び目(14か所)を50cm~60cmの竹等で持ちあげる。

* 馴れると約1時間で出来る作業量である。

設置場所の条件

出来るだけ平坦で、起伏や凸凹の無いところ。
朝か夕方には日影になるところ。隣接して森があるのが一番良い。
スキー・コースの場合は両側に連続して3~4セット設置すると最も効果が高い。

概算費用

平帳りネットの場合 1m当たり約200円 30mでは6,000円になる。

なぜ効果があると思うのか

3年間実施して効果があったので、今年もあると期待しているのであるが、学習の遅い鹿もそのうち賢くなって効果が無くなるかも知れない。
この方法は京都で古くから魚網を商う古老から授かった。偶蹄類は爪の間にもものが挟まるのを極度に嫌い、一度体験するともう二度と踏み込まなくなるというのである。この話は百姓さんからも聞いたことがあり、試してみたわけであるが、両側に連続して設置すると更に高い効果があることが分かった。しかし、小鹿には通用しないらしくほぼ完璧に食われた場所もあった。

参考

山間部で恒久施設として設置されているイノシシ、シカ、サル防除のための防獣フェンスは、深いコンクリートの基礎の上に高い金属の支柱を立てて金属のネットを張り、その上に更に支柱を継ぎ足して高圧電柵を取り付けたものがある。高いものでは3mを越える。

費用は見当がつかないが1m当たり数千円以上かと思われる。
当初完璧な効果が期待されたのであるが、弱点もある。命を脅かすほどの電圧では無いと学習したサルは毎年侵入し、甘ガキはすべて食われて人間の口に入ったことは無いと言うし、白昼でも素早く大胆に行動するシカが人間の通路から侵入すると、追い出すのが無く住みついているものもあるという。